



第 1 5 7 期救急科を実施しました

[期 間] 令和 7 年 1 0 月 9 日（木）から 1 1 月 2 8 日（金）まで
3 4 日間

[会 場] 埼玉県消防学校
所属消防本部（局）

[到達目標] 救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な
観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊
員として活動できる。

[教育対象] 救急業務に従事させようとする者（日赤救急員の有資格者、初任
教育救急講習修了者又はこれらと同等以上の知識技能を有する者）

[修了者] 2 3 消防本部（局）8 4 名
平均年齢 2 4 . 8 歳

埼玉県消防学校 第157期救急科 日課表

令和7年10月9日(木)～令和7年11月28日(金)
34日間 272時間

受講場所 埼玉県消防学校 大講義室

	日	曜日	1 時限 8:30～9:20	2 時限 9:20～10:10	3 時限 10:10～11:00	4 時限 11:10～12:00	5 時限 13:00～13:50	6 時限 13:50～14:40	7 時限 14:50～15:40	8 時限 15:50～16:40
座学	10/9	木	入校式	ガイダンス (担当教官)			救急活動（法規） (戸田市消防本部)			
	10/10	金	循環器・出血 (川口市消防局)				神経 (深谷市消防本部)			
	10/14	火	消化器 (西入間広域消防組合消防本部)			呼吸器 (行田市消防本部)			救急医療 (医療整備課)	
	10/15	水	効果測定① (担当教官)	泌尿・生殖器 (埼玉東部消防組合消防局)			運動器 (埼玉県中央広域消防本部)			社会保障・社会福祉Ⅰ (国保医療課)
	10/16	木	観察 (さいたま市消防局)				内分泌・代謝 (埼玉県南西部消防局)		皮膚・感覚器 (吉川松伏消防組合消防本部)	
	10/17	金	ショック (熊谷市消防本部)				CPA・CPR (蕨市消防本部)			
	10/20	月	血液・体液・熱中症 (埼玉県南西部消防局)			社会保障・社会福祉Ⅱ (社会福祉課)	細菌・感染症・感染防止・消毒 (上尾市消防本部)			
	10/21	火	応急処置総論・各論 (埼玉西部消防局)				熱傷・電撃症・救急搬送 (埼玉西部消防局)			
	10/22	水	急性心血管系疾患 (比企広域消防本部)				急性腹部疾患 (羽生市消防本部)			
	10/23	木	急性呼吸器疾患 (児玉郡市広域消防本部)				脳血管障害 (草加八潮消防局)			
	10/24	金	一般外傷各論 (春日部市消防本部)				意識障害 (熊谷市消防本部)			
	10/27	月	外傷総論・その他外傷処置 (埼玉東部消防組合消防局)				集団災害 (川越地区消防局)			
	10/28	火	腹部外傷 (蓮田市消防本部)				胸部外傷 (三郷市消防本部)			
	10/29	水	頭部・顔面外傷 (秩父消防本部)				脊椎・脊髄損傷 (埼玉西部消防局)			
	10/30	木	効果測定② (担当教官)	検査・高齢者 (坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部)			処置各論（在宅療法） (入間東部地区事務組合消防本部)			
	10/31	金	小児救急医療 (さいたま市消防局)				処置各論（心電図） (埼玉県中央広域消防本部)			
第一回事前	11/4	火	急性中毒 (川口市消防局)			社会保障・社会福祉Ⅲ (地域包括ケア課)	産科・周産期 (草加八潮消防局)			
第二回事前	11/5	水	精神救急 (上尾市消防本部)			鑑識 (埼玉県警察)	四肢・骨盤外傷 (越谷市消防局)			
第三回事前	11/6	木	異物・溺水 (越谷市消防局)			接遇 (さいたま市消防局)	安全管理		実技訓練概要 (担当教官)	

訓練場所 埼玉県消防学校 大講義室 屋内訓練場

			1 時限 8:30～9:20	2 時限 9:20～10:10	3 時限 10:10～11:00	4 時限 11:10～12:00	5 時限 13:00～13:50	6 時限 13:50～14:40	7 時限 14:50～15:40	8 時限 15:50～16:40
実技	11/7	金	資機材取扱訓練				6 ブース基本訓練			
	11/10	月	外傷訓練（資機材取扱）・CPR対応訓練				内因訓練（各種評価・観察問診・気道管理）			
	11/11	火	内因訓練（意識レベル評価・バイタル測定）				外傷訓練（状況評価・初期評価）・CPR対応訓練			
	11/12	水	外傷訓練（腹臥位3想定）・AED4波形訓練				内因訓練（喉頭展開訓練）			
	11/13	木	内因訓練（喉頭展開訓練・SSN訓練）				外傷訓練（全身観察・緊急処置）			
	11/14	金	ストレッチャー曳航訓練・トリアージ訓練 車外救出訓練				内因訓練（各種症例）			
	11/17	月	外傷訓練（初期評価～全身観察） CPR対応訓練				内因訓練（各種症例）			
	11/18	火	外傷訓練（指令～ファーストコール） 小児・乳児CPR対応訓練				産婦人科救急訓練 （草加八潮消防局）			
	11/19	水	内因性シミュレーション							
	11/20	木	外因性シミュレーション							
	11/21	金	効果確認シミュレーション							
	11/25	火	総合シミュレーション							

受講場所 所属消防本部（局）

実技	11/26	水	現 場 実 習							
	11/27	木	現 場 実 習							

受講場所 埼玉県消防学校 大講義室

	日	曜日	1 時限 8:30～9:20	2 時限 9:20～10:10	3 時限 10:20～11:10	4 時限 11:10～12:00	5 時限 13:00～13:50	6 時限 13:50～14:40	7 時限 14:50～15:40	8 時限 15:50～16:40
座学	11/28	金	R・I （埼玉県衛生研究所）		資機材取扱		資機材取扱		救急交通 （埼玉県警察）	修了式 （担当教官）

AED取扱訓練



BVM取扱訓練



ストレッチャー取扱訓練



異物除去訓練



外傷処置訓練



感染症対策訓練



車外救出訓練



シミュレーション訓練



修了しての感想

第157期救急科84名が、誰1人欠けることなく全員で修了できたことを嬉しく思います。支えてくださった学校教官、支援教官、講師の方々のおかげです。感謝申し上げます。

救急科で学んだ知識や技術、「絶対救命」という思い、仲間たちとの経験をしっかりと胸に刻み、日々精進していきます。そして1人でも多くの傷病者を助けられるように尽力したいと思っています。



後輩へのメッセージ

救急は難しいと苦手意識がある人もいるかと思います。私もそうでした。しかし、支援教官や講師の方々が丁寧に指導してくれるので安心してください。そして、わからないとき、失敗したとき支えあえる仲間もできます。救急科で出会った仲間たちと有意義な日々を過ごしてください。

修了しての感想

消防職員として仕事をしていく中で、傷病者目線に立ち、ここまで考えたことは初めてでした。その中で観察処置はもちろんですが、個人個人にあった適切な接遇について理解を深めることができた期間であったと自負しています。この得たものは、救急活動に限らず社会生活の中で存分に活かしていきたいと考えています。

このような機会と環境を与えてくださった所属の方々を始め、教官の方々並びに講義にいらしてくださった講師の方々には厚くお礼を申し上げます。



後輩へのメッセージ

これからの消防人生の転機ともなり得る重要な過程だと思います。是非多くの方々と関わりながら楽しく学んでください。

修了しての感想

救急科を入校するにあたり、私達のために学びの環境をつくってくださった担当教官、講師の方々に感謝申し上げます。傷病者やその家族に対する接遇の大切さ、知識、技術など細かく親切丁寧に御指導していただき有意義な時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。



後輩へのメッセージ

救急隊として必要不可欠なスキル、知識を学ぶことができます。たくさんの不安を抱きながら入校すると思いますが、救急科は素晴らしい講師、教官のもとで学ぶことができる場所です。

一日一日を大切に、ここで出会う仲間とかけがえのない時間を過ごしてください。

修了しての感想

34日間、教官、支援教官からの優しく愛ある指導、小隊分隊の仲間たちの支えがあり、本研修を笑顔で修了することができました。本研修で学んだ救急の知識、技術、チームワーク力を災害現場で活かし、市民傷病者の身体だけでなく、心まで救える優しい消防官になりたいと思います。本研修で出会えた仲間との絆に感謝！



後輩へのメッセージ

救急業務は消防隊、救助隊、指揮隊どの部隊に所属していても必ず必要な知識だと私は思います。入校する前は不安な気持ちもあると思いますが、仲間の協力、教官の優しい指導があるので安心してください。年齢、職歴は様々ですが、仲間との出会いを大切に1日1日を大事に過ごしてください。